

タマリハ 言語聴覚学科外部講師 坂本圭先生に聞いてみよう!



埼玉医大病院耳鼻咽喉科の言語聴覚士です！

埼玉医大病院では、聴覚障害の方に対して各種聴覚検査を実施したうえで、医師とともに個々に応じた補聴機器（補聴器や人工内耳等の人工聴覚機器）の選択し、補聴機器の調整を含めた聴覚リハビリテーションを行っています。

対象は新生児から高齢者までと幅広い年齢の方に対応しています。タマリハでは、「聴覚障害学Ⅱ（成人聴覚障害）」という講義を担当しています。

成人の聴覚障害を持つ方が抱える困難や背景を理解したうえで、聴覚機能やコミュニケーション能力における問題点を適切に評価するために各種検査を知り、検査方法を学んでいきます。そして、問

問題点に、どのように支援できるか

題点に対してどのような方法

で訓練（リハビリテーション）し、支援することができるのかについて講義しています。

タマリハには言語聴覚士を共に目指す意欲の高い学生と親身になって学生を支えてくれる、専門性の高い先生方がいらっしゃいます。言語聴覚士を目指す方々が、安心して学べる環境があります。一緒に目標に向かって頑張りますよ。

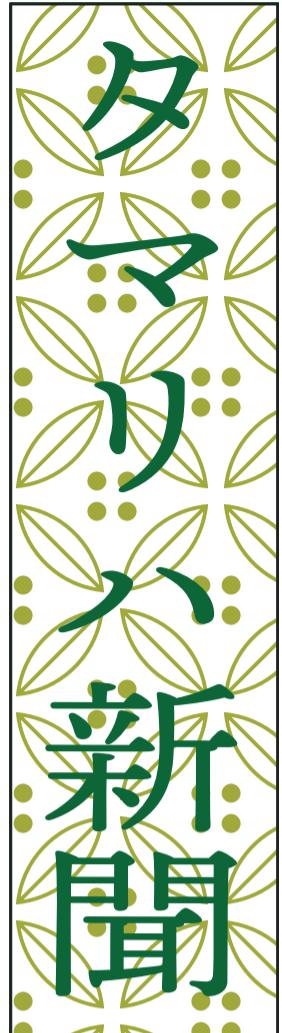
タマリハでの坂本先生の授業の様子を、また学生の生の声と専任教員の声を集めてみました！

「とても分かりやすく、最先端の聴覚分野の知識を教えてくれるので楽しい。」

「質問すると、どこで分からなくなっているかを丁寧に聞いてくださり、明確にこたえてくださる。」「難しいことを噛み砕いて教えてくれるので、理解しやすい。」「授業のスピード感がよく頭に入りやすい。」

「気さくで質問しやすく、ハキハキと答えてくれる。」・etc・

非常勤講師室にご挨拶に行くと「おはようございます！」と笑顔で明るく、朝なのに元気ハツラツ、空気を



番外編
発行所
多摩リハビリ
テーション学院
専門学校

高いモチベーションを持って頑張ってくださいね。共にSTの仲間として働ける日を楽しみにしています。

正の雰囲気にパッと変える先生。日頃は、病院で働かれていて、学生の個性、質を瞬時に見極め、自然と誘導ができる先生。実習生も対応していると思いま

すが、坂本先生の元につかれた

学生さんは、とても有意義な実

習が送れていると想像できる。

そのことから、本科の学生も信

頼を持ってお任せができる。入

学前に言語聴覚士になりたい学

生さんの希望する領域は、摂食

嚥下障害領域が一番多いが、坂

本先生を始めとする聴覚障害学

領域の先生方の影響を受け、入

学後は聴覚障害学領域の言語聴

覚氏になりたい！と希望を変え

る学生も少なくない。坂本先生

はトーク力、パフォーマンス力、

相手をつかむ力と「人（学生）

に影響を与える方の特徴」を持ち

合わせていいと思う

る先生です。

是非、坂本

先生の授業

を受けてほ

しいと思います。

の先生です。専任の先生方から

絶大な信頼を得ていることは、

取材を通して、にじみ出で

いることを感じました。タマリハ

で坂本先生から学んでみませんか。

「えつ、学生さんじゃないの？」～編集後記～

識し、仲間とともにに語聴覚士となる姿を意るうえで必ず活かされるべきだと思います。将来言

として対象者を理解するうえで必ず活かされこれまで経験してきた社会経験が、言語聴覚士として対象者を理解するうえで必ず活かされましよう。皆さんがあれまで経験していく仕事です。

事務の窓口に出席簿を届けに来てくださる時、物腰柔らかにニコニコとされている坂本先生は、時折対応しなくて話が出るくらい爽やかな印象

たスタッフから「今の学生さん？」

の先生です。専任の先生方から絶大な信頼を得ていることは、取材を通して、にじみ出でいることを感じました。タマリハ



坂本先生の授業は？

